



日刊報 日五十月一十 日刊報 日五十月一十 日刊報 日五十月一十

郡下三十ヶ組合で 報國貯金の奨励

三ヶ年据置で國債に應ずる 平庶民金庫は既に開始

石城郡下の各産業組合では國家の非常時局に對する備へとして報國貯金を奨励する申合せを済し既に實施中のもの、平庶民金庫を初め内郷、勿來、川部の四組合が、頗る良好なる募集成績を示しつゝあり次へで渡邊、玉川、好間、平野、小名濱、高久、錦、赤井、山田、夏井の各組合は農家の稲刈後に同じく報國貯金の募集を開始すべく準備中であるが右は一人一ヶ月一圓以上を目安に置いて三ヶ年を据え置き國債に應ずるとするもので郡内信用組合三十ヶ組合の全部が精進するこの組合貯金の後の護りは見事な成績を上げるであらうと見られてゐる

明日竣功式 平神橋

平市と神谷村で第六號國道改良事業で架け換へられた平神橋(鎌田町の改稱)の落成祝賀式は明十六日午前十時から平市と神谷村の

石城産馬畜産組合 種馬の基本調査

血統、馬格、稱呼の變更 來廿一日から來月十五日まで

出征軍人に 毛シャツ

江名國防婦人の赤誠 石城郡江名町の上神白國防婦人に於ける銃後の活動は目ざましいもので町内附近の山林から出る樹の採取をなし賣却した金で部落内出征兵に慰問した外毛製シャツ一枚づつを贈つたが尙ほ出征軍人の家庭に會員總出の稻刈手巾ひをなし引續いて稻こきにも努力奉仕をなしてゐる

護國の華

ヘジテーションは選抜または躊躇のことへチテートは其れをやることとの足をえむことだベシミスチックは悲觀主義の厭世の主義でベシミスムは其主義だ

縣販購聯主催で 肥料の配給協議會

來る二十一日平市に於て

縣販購聯主催を以て石城郡下及び双葉郡宮岡町以南に於ける産業組合及び農會關係者を招集する肥料並びに雜貨配給の協議會は來る二十一日午前十時から平市團體事務所樓上に開催されるが右は支那事變の重大時局に直而し消費經濟を圖るべきが産業組合の使命であるとなし殊に生産資源である肥料配給の合理化及び生活必需品の廉價配給により農村の消費經濟を圖ることは戦時体制下に於ける銃後の國民の任務であると云ふによつて協議を練られると

入賞者

平商業校主催の昨十四日の珠算競技會は多數の参加を以て盛況であつたが入賞者は左記の如くである

上海戦線に名譽の戦死をなす賢家には父眞一(三三)氏母うめ(四三)さんの外弟妹五人ある出征前まで昭和入籍の職工をしてゐた、

寫眞展受賞者

磐城寫友會の第四回寫眞展覽會は去る十三、十四日平市マールモホールに於て開かれたが受賞者は次の如くである

等湯本校 二等第一校 三等四倉校 ▲同女子部 一等湯本校 ▲尋常科個人賞男子部 1 入山櫻田男 2 同金成保 3 大浦大樂庄 4 入山小林利男 5 同上野英四郎 ▲同女子部 1 平二田卷隆子 2 同荒井利子 3 同遠藤みづ 4 同清野俊子 5 同遠藤千枝子 ▲高等科個人賞男子部 1 湯本伊東哲志 2 同渡邊朝美 3 同青木忠男 4 四倉鈴木金松 5 湯本小松義雄 ▲同女子部 1 平二鶴山てる子 2 四倉鈴木あゐ子 3 湯本伊藤なつみ 4 平二鈴木光子 5 同加藤

内郷の線上選挙

石城郡内郷村では村會議員鈴木源作氏の出征により去る十日午前十時の線上選挙會に於て次點の加藤木誠一郎氏の當選を決す

春子 ▲第二部 1 平市役所稻沼秋一 2 四倉鈴木五郎 3 平市役所長谷川政男 ▲第三部 1 常陽銀行石川安之助 2 磐城渡邊好雄 3 常陽銀行石橋寅吉 4 同川信夫 5 同黒澤眞 6 昭和入籍夫林四郎 7 常陽銀行重藤一郎 8 平商業佐藤滿彦

柿樹から落ちて 即死する

石城郡川前村の萩原尻戸部吉雄(三三)は去る十一日夕刻居宅前に於ける夏井川岸の柿の樹に登り柿をむき取つてゐたが誤つて墜落し樹下の大石に頭部を打つて即死した

古河坑の合宿で 四十一圓在中の ガマ口泥

古鐵物故買 商の贖物故買

石城郡好間村の上好間居住古河炭礦坑夫東白川郡竹貫村生れ川原繁雄(三三)は去る十二日午後四時半頃同炭礦坑の北寮坑夫合宿所娛樂室に於て同所の礦夫佐藤榮太郎所有の現金四十一圓在中赤皮袋口を窃取し何食はぬ顔でそれを相田請願巡査のため即日逮捕取調への上今十五日身柄と共に一件書類を送局された

肺を苦しめた 放火自殺か 三坂村下三坂で 石城郡三坂村の下三坂邊佐藤徳三郎(三三)四男四郎は肺病の爲め居宅裏山に一人住ひの假屋に居臥し静かに静養中であつたが去る十三日午後九時頃同假屋から放火し前記四郎も家屋の全焼と共に焼死した發火の原因については目下平野の取調中であるが病氣の不治を悲観した病者自らの放火自殺かと云はれてゐる

店舗擴張 平郵便局横丁 南町通り角に 移轉致しました

た、倍舊の御引立を御願ひ申します

直龍軒理髮舖 店主店員一同 ヴィンレター應用腦 快術、お顔のアレ止 にヴィンレター應用 美顔術、

納税の成績に就て (下)

高屋平稅務署長の談 殊に平市の納稅者五二一人中 納稅人員は普通所得稅と同様一人の納納もなかつたことは、一、六〇一人總稅額は本所得稅の七五五厘即ち九、八三六の現象と申しても決して過言 圓中の第一期分は其の三分の一額たる三、二七八圓なるも、本稅は時局と最も關係の深い

事變費の一部と云ふ不動の精神の信念より銃後の國民は戦り吾々稅務當局に於ては調査に當り最も慎重なる態度を以て課稅の公平に鋭意努力致して居る心構をどうぞ理解して頂きたい、終りに納稅者の苦衷に於ては、心並に今回の成績擧揚の爲の身の熱誠を拂はれた各市町村當局に對し深甚の敬意を表す次第である(完)

當店獨特サービス

フケ取、又ケ毛止ク リーム使用、ハンド

直龍軒理髮舖 店主店員一同 ヴィンレター應用腦 快術、お顔のアレ止 にヴィンレター應用 美顔術、

當店獨特サービス

フケ取、又ケ毛止ク リーム使用、ハンド

農業方面

林間を利用する 特用作物 (下)

實際栽培に指針
樹種の配合選定
それから薬用植物の栽培であるが元來藥植物なるもの大部分は山野に自生するものでこれに或る程度の手入れをして採取に便すればよろしいのである、特に黄蘗、「ばくちのき」などは需要が多いので販賣も困らず林間の栽培としても好成績を収められる、
花木の栽培、これは山林内の雑木、小柴の切花用、盆栽用として利用されるものが少なくない、例へば「さかき」「しきみ」などであるが此の外は「あせび」「うめ」とも「しきぎ」などがある、山林内のこれ等の雑木は落葉や下葉採集の際に不注意に刈取られる現状であるから注意して利用するがよい、なほ花木として彼岸梅、南天、「こぞきり」、梅、高野槇なども都會地の附近であれば處分に好都合であるから栽培に相當の收入を見られる、
以上に述べたやうなものが大体の好適作物であるが右の栽培について明永技師の語るところを上げると、
林地の經濟的利用は特に山林にとつて必要なことである、たとへばこれを賣捨するに當つて販賣用の目的ならば市場の需要状況を充分調査せなければならぬ、差立つてのものとしては農家が自分で消費するもの、なかでも緑肥、飼料作物等が恰好のものでないかと思ふ。

産科、婦人科専門
根本醫院 (平市南町)
電話三四番
病室入院隨時根本庄次郎
増築手術室完備根本貞雄

食 事
喫 茶
酒場を兼ねた。
町田平 二五三電
ザロソ
レストラン

本年流行
ヘルベツト地
婦人シヨール
三、八〇より一三、〇〇まで
豊富陳列
ツルヤ
平四・電一四〇

デーリーサービス
特にマルトモのランチは...
材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来まので御座客様からいつも御好評を戴いて居ります
御来店御名上りの時も御來客様用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば至極の材料で美味快速なものを調理進上出来まので之をまた非常に御好評で御座います
RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ
平市停 車場通
一電二三話

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 平市
用命は 田町

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで
院醫尻江
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

高野屋
平市南町二丁目

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院 (電話六六九)
平田町(三丁目裏川岸通)
入院應需(自炊の便あり)

内科、小兒科 平市田町 電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

債券公債 両替 金融
多田井質店
平市天工町 電話五九一番
病室増築、手術室完備
醫學博士
産科 婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話二六九番」

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜 診察 **北川外科**
平市新川町二七(電話四六四)
〔血液検査毎日〕
イツデモ 醫學博士 北川芳夫
入院デキマス 技師 三浦常保

表代城盤 酒銘
味美 經濟 醬油
ヤマハ醬油
社會名合崎山
番十話電
一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社